

肺癌転移の病理組織学的研究に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年6月20日～2024年3月31日

〔研究課題〕

胸腔播種における癌微小環境の病理組織学的検討

〔研究目的〕

肺癌の転移先(播種巣)において、癌の発育しやすい環境(癌微小環境)は、どのような細胞から構成されているのかを検討します。

〔研究意義〕

肺癌の転移様式の1つに、癌細胞が胸腔中へ広がる播種と呼ばれるものがあります。胸腔は中皮細胞で覆われ、中皮細胞は癌細胞の侵入を防ぐ防御壁となっていると考えられていました。しかし最近では、中皮細胞に癌転移促進的な役割があるとの報告もあり、癌の発育における中皮細胞の役割は未だ明らかになっていません。本研究では播種における癌微小環境の構成細胞について検討し、播種の形成メカニズムについて病理組織学的に明らかにします。転移機序を解明することは、癌進展の予防および治療に寄与すると考えられます。

〔対象・研究方法〕

2000年から2017年までに帝京大学医学部附属病院にて肺癌で手術を受け、播種巣の切除を行った方を対象とします。播種巣の病理組織標本を用いて、癌細胞を取り巻く細胞の性質を調べるために、免疫染色によって各種タンパク質の発現状態を検討します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部病理学講座

〔個人情報の取り扱い〕

研究結果は、個人が特定できない形式で学会等において発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後10年間保管されたのちに破棄されます。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者：渡部朱織 情報管理責任者：主任教授 宇於崎宏

所属：帝京大学医学部病理学講座

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211 (代表) [内線 48210]